やぎ詩の郷通信

第14号

永久保存版

発行日：令和５年３月吉日
発行元：南丹市社会福祉協議会
やぎ詩の郷

〒629-0113
南丹市八木町刑部片山 20-7
TEL0771-43-0317
FAX0771-43-0318

法人理念　～すべての住民のこころが輝く福祉のまちづくり～

やぎ詩の郷理念　～住み慣れたあたたかな地域で暮らすために～

日頃はやぎ詩の郷の運営につきまして、ご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

コロナウイルスについては、5 月には第 5 類へ引き下げられる予定とはいえ、マスク着用、手指消毒、換気はこれからもまだまだ続きそうです。今年度はクラスターの発生や感染拡大防止で利用を控えて頂く事もあり、ご迷惑とご心配をおかけしました。利用者様にも安心して利用いただけますよう、これからも「感染対策」をしっかりと行いたいと思います。

そんなコロナ禍でも、今年度は八木町内のふれあいネットワーク会議や地域交流会で「認知症」に関する研修会を実施、地域で見守り、暮らし続けられる事を目的に啓発活動、事業所の更なる周知活動を行いました。

また、新年度がスタートした夕暮れ時にこんな出来事がありました。道路沿いで大きな音がして、外に出てみると女子中学生が溝に自転車ごとはまっていました。腕や膝を擦りむいていたため職員が応急処置。話を聞くと新入生とのことで、慣れない長距離の自転車通学で重たい鞄をカゴに乗せバランスを崩したようでした。後日、ご家族がお礼に来られ「通学路沿いで何かあった時、助けを求められる所は詩の郷だけなので後 3 年間お願いします」とおっしゃっていました。利用者様、利用者家族様から頼りになる事業所である事はもちろん、「地域密着型」の事業所として、地域からも頼りになる、愛されるそんな事業所でありたいと感じました。

今年度も家族会は中止させて頂きましたが、この通信で1年を振り返り、詩の郷の様子を感じていただければと思います。

管理者　山内裕大

～令和4年度　1年の振り返り～

春

地域の方々に詩の郷の**畑の整備、野菜の苗植え**をお世話になりました。ありがとうございました。

見学の際に頂いた**バラをお風呂**に浮かべました。

ガレリア亀岡**バラ園見学**に全利用者様に参加していただけました。その他に**「アジサイ」**も見に行きました。

夏

蓮見学の際に少し足を伸ばし、出雲大神宮にも行きました。（肝心の蓮の花は咲いていませんでした）

ボランティアグループ「さくらんぼ」さんに水無月を作って頂きました。大変美味しかったです。

流しそうめんをしたいところですが感染対策でブュッフェ形式のおやつそうめん

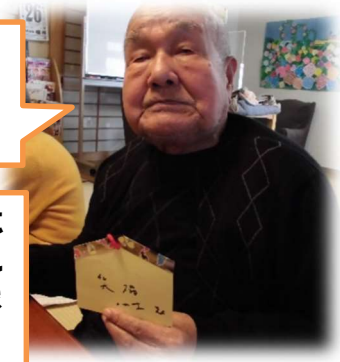
秋

3日間連続で「詩の郷大運動会」地域住民の方にも参加して頂き、紅白に分かれ、計4種目を競いました。

地域のサツマイモ堀りに参加、後日その様子が新聞にも掲載されました。

冬

紙すき体験
紅葉も散りばめながら世界に一つしかないハガキが完成しました。



絵馬に今年の目標（想い）を書いて頂きました。

鬼に餌を与えるようにやさしく豆撒きをされているのがとても印象的でした。（変装している職員への愛情）

サンタからプレゼント
お渡しすると中身を早速確認されていました。
（今年は靴下でした）